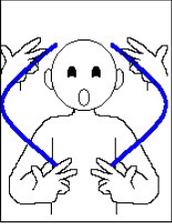
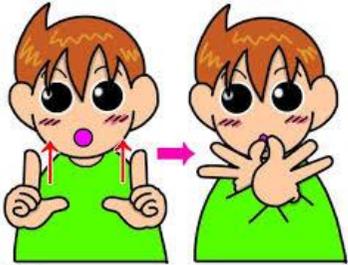
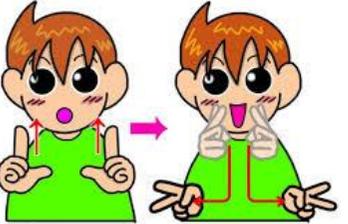
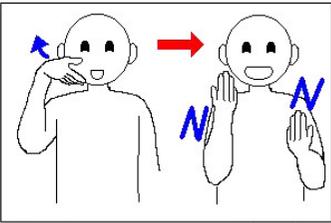
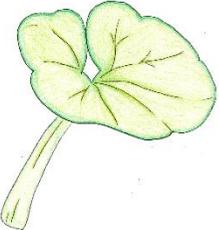
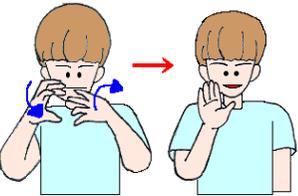
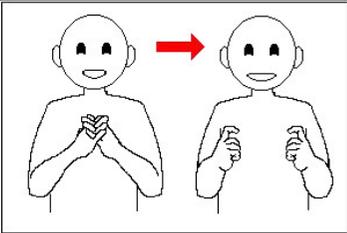
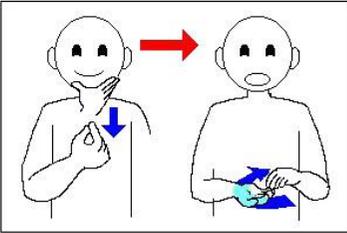
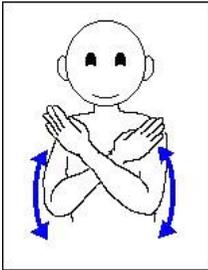
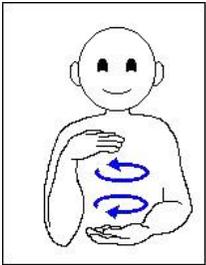
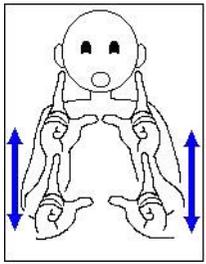
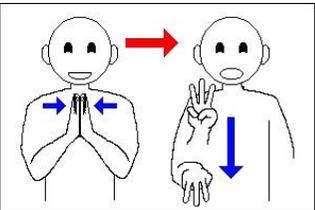


地方	県名	手話	意味	参考画像、他の表し方
北海道	北海道		大陸の形状から来ているそうです。	
東北  	青森県		青と森の漢字からだそうです。	
	秋田県		特産品の蕨(フキ)の形状から。	
	岩手県		岩と手の漢字からだそうです。	
	山形県		名産のさくらんぼから。	

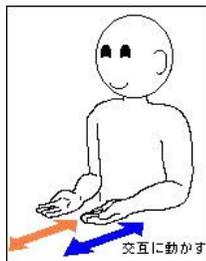
東北	宮城県		神社の屋根とお城から。	
	福島県		福(幸福)と島の漢字からだそうです。	
関東  <small>関東</small>	栃木県		栃の葉をイメージ。	
	茨城県		桜田門外の変で、井伊直弼を討った水戸浪士が蓑傘を着ていたところから。	
	群馬県		馬に鞭を入れる様子から。	

関東	千葉県		漢字の千を指で表現	
	埼玉県		玉をイメージしたもの。	
	東京都		東を二回表現する。	
	神奈川		神を表す柏手と漢字の川。	
中部	山梨県		枝からぶらさがるブドウを表現。	

中部

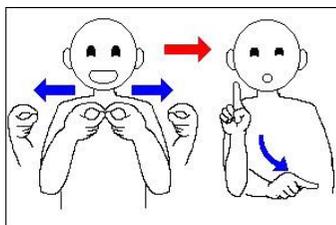


新潟県



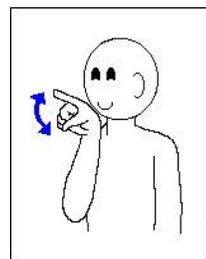
新潟港から佐渡へ、船が頻繁に出入りするようすを表している。

長野県



手話の長いという表現と指文字の「の」の組み合わせ。

岐阜県



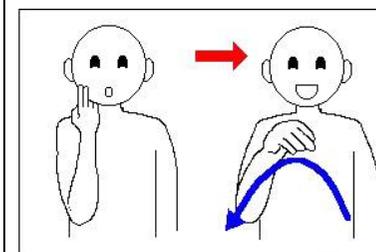
鶺鴒飼の鶺鴒のクチバシを表現。



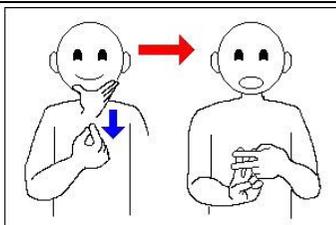
富山県



富の頭文字の「ト」を指文字で表し、山と組み合わせたもの。



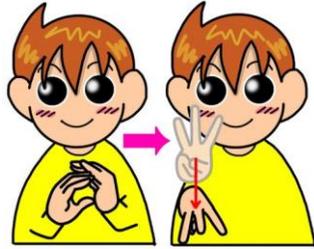
福井県



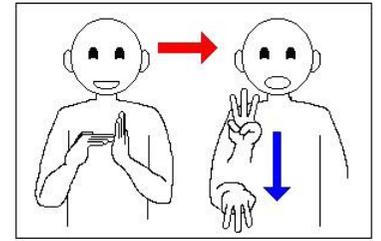
幸せの福と漢字の井の表現を組み合わせたもの。

中部

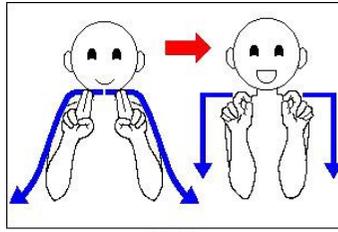
石川県



石の硬いというイメージと川のコーボ。



静岡県



富士山の形を表現した後に手話表現の岡。



愛知県

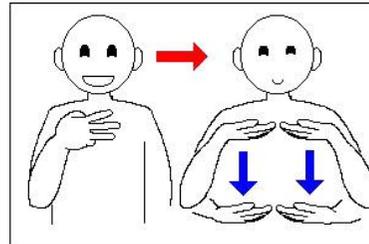


子供の頭をなでるしぐさ(「愛」を表す手話表現)

近畿

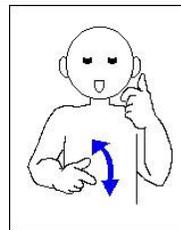


三重県



「三」と「重」をそれぞれに当て文字した表現、指文字「み」と「重い」。

滋賀県

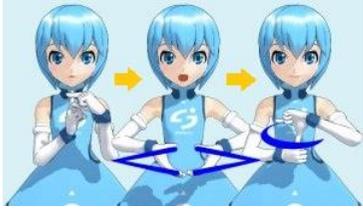


「琵琶湖」の文字から「楽器の琵琶」をイメージ。

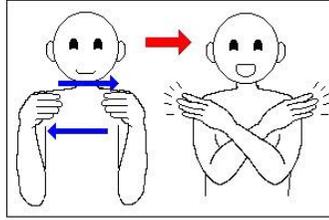


近畿

中国



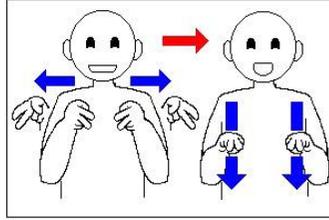
岡山県



畳の材料である「イグサ」を干している様子。



広島県

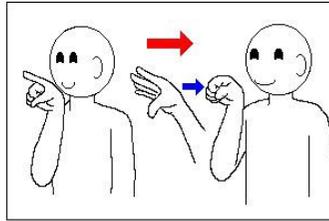


安芸の宮島として有名な海の中に立っている鳥居を表す。



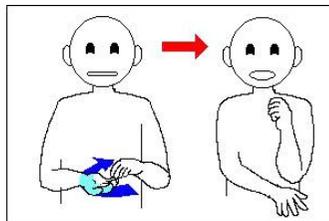
間違いやすい手話

鳥取県



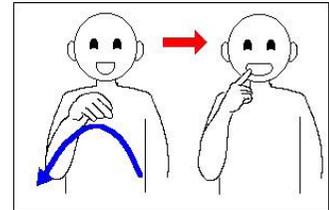
「鳥」の手話と「取る」の手話。

島根県

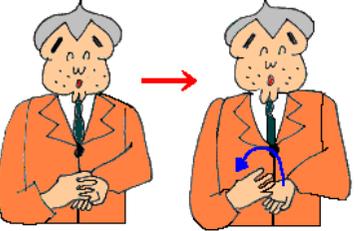
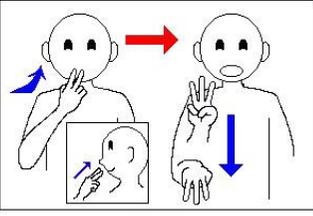
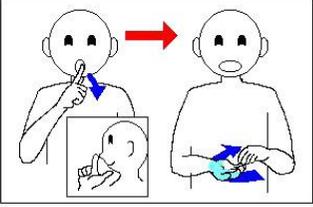
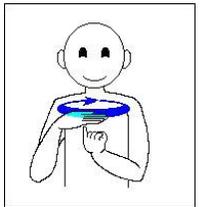
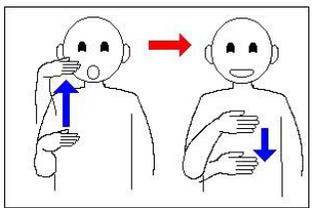
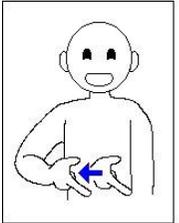


「島」と「根」を表す手話表現。

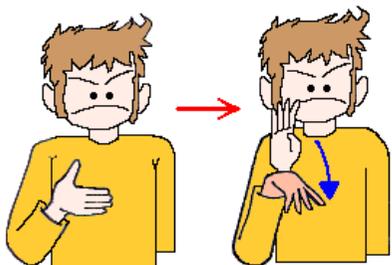
山口県



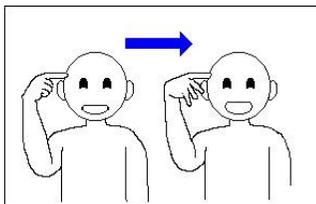
「山」と「口」を表す手話表現。

<p style="text-align: center;">四国</p> 	<p>香川県</p> 	<p>手話で表現する「香り」と「川」・ (香り=匂い)。</p>	
	<p>徳島県</p> 	<p>徳川家康の「徳」という意味で徳川家康がはやしていた「あごひげ」と「島」。</p>	
	<p>愛媛県</p> 	<p>女の子をかわいがる 「女の子=小指」「かわいがる=愛らしい」。</p>	
	<p>高知県</p> 	<p>手話表現の「高い」と「知る」(解る)で表す。</p>	
<p style="text-align: center;">九州</p>	<p>福岡県</p> 	<p>福岡名産の「博多帯」のイメージ。</p>	

九州

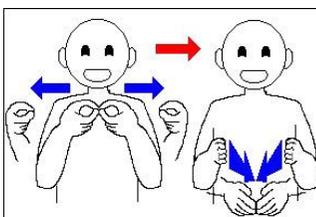


佐賀県



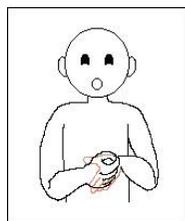
大学の菱形をした帽子の角についている”ふさ”を表したもの・(佐賀県出身である「大隈重信」(おおくましげのぶ)が創設した早稲田大学の学帽)。

長崎県



手話表現の「長い」と「先」。

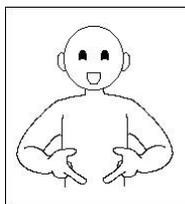
大分県



片手で九州の形を表現、そのなかで大分の位置を示す。



熊本県

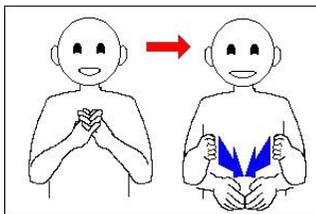


加藤清正が身に付けていた鎧のマーク「大曼荼羅」。



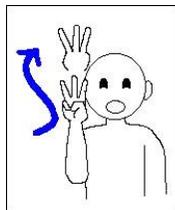
九州

宮崎県



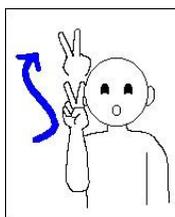
手話の「宮」と「先」・(宮は神社の屋根の形、崎は「さき」=「先」のあて手話。

鹿児島



鹿の角をイメージ。

沖縄県



民族衣装のハチマキをイメージ。



参考資料：手話で表す都道府県（ちゃちゃ丸&茶々。の手話に関するページ）

<http://cyacyamaru.c.ooco.jp/syuwa/todofuken/index.html>